

ホテルチェーン2社と災害対応に関する協定を締結 ～大規模災害時における TEC-FORCE 派遣に備えた体制強化～

国土交通省四国地方整備局では、TEC-FORCE を派遣する際に現地の活動拠点となる宿泊施設を確保することを目的として、ルートインジャパン株式会社及びアパホテル株式会社と令和6年9月10日に宿泊施設の確保等の協力に関する協定を締結しました。

国土交通省四国地方整備局では、発災後いち早く TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を被災地に派遣し、これらの大規模災害に迅速かつ確実に対応することができるようになるため、日本全国でホテル運営しているルートインジャパン株式会社及びアパホテル株式会社と「災害時に職員が利用する宿泊施設の確保等の協力に関する協定」を令和6年9月10日に締結しました。

アパホテル株式会社との協定締結は全国初、ルートインジャパン株式会社との協定締結は全国2例目となります。

本協定の締結により、TEC-FORCE の活動拠点となる宿泊施設の確保体制が強化されたことで、更なる地方公共団体への支援体制が構築されました。

引き続き、災害から国民の命と暮らしを守るため、関係機関等と連携を図りながら、防災力の向上に取り組んでいきます。

この施策は、四国圏広域地方計画「No1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」及び「四国地震防災基本戦略」の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 防災室

防災管理官 笠井 大輔（内線 2123）

○防災室長 久藤 勝明（内線 2151）

TEL（087）811-8310（直通）（○：主な問い合わせ先）

災害時に職員が利用する宿泊施設の確保等の協力に関する協定締結 ～大規模災害時におけるTEC-FORCE派遣に備えた体制強化～

■協定の概要

1. 協定の目的

被災状況の迅速な把握、被害の拡大防止及び被災地の早期復旧等に対する技術的支援を行うため、被災地に派遣するTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動拠点となる宿泊施設の確保等を行うものです。

また、ホテルが被災地住民の一時避難場所として開放されている実情等に十分配慮した上で、TEC-FORCEが現地で確実な活動ができるようにするため、以下の項目について可能な範囲で協力を得ることとしています。

1) 派遣先近隣にある宿泊施設の情報提供

（住民の一時避難場所としての状況等を踏まえて提供可能な施設の名称、部屋数及び宿泊可能日数 等）

2) 宿泊施設の迅速な確保

（週休日や夜間における連絡体制を構築）

※1年365日、昼夜を問わず日本全国に派遣するTEC-FORCEの特性を踏まえた連絡体制を確保。

2. 協定締結日

令和6年9月10日（火）

■TEC-FORCEの活動内容

～建設企業と協力しての給水活動～



～道路等の被災状況を記録～



～他機関からの情報収集～

